



2022年3月22日
株式会社アイ・ピー・エス
スカパーJSAT株式会社

アイ・ピー・エスとスカパーJSAT
フィリピン国内における衛星インターネット接続サービスを開始
～衛星通信×風力発電でSDGsへ貢献～

株式会社アイ・ピー・エス（本社：東京都中央区、代表取締役 宮下 幸治、以下アイ・ピー・エス）とスカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 米倉 英一、以下スカパーJSAT）は、スカパーJSATの衛星によるインターネット接続サービスを、アイ・ピー・エスの連結子会社である InfiniVAN, Inc.（インフィニバン、以下InfiniVAN）を通じて、フィリピン国内で提供を開始しました。

導入第1号となるフィリピン北部のバタネス州バタン島では、風力発電設備の遠隔監視システムに加え、周辺地域のデジタルデバイド解消のための回線として利用が進められています。スカパーJSATとアイ・ピー・エスはこの取り組みを通じて、衛星通信と再生可能エネルギーを組み合わせ、地域のデジタルデバイドを解消することでSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献していきます。



フィリピンの農村地帯や島しょ部には、光ファイバーなどの高速通信網が未整備なエリアが多く存在しています。新型コロナウイルスの感染拡大を機にオンライン授業やテレワークが普及するのに伴い、ブロードバンド環境を速やかに設置し利用開始できる衛星インターネット接続サービスの需要も増加しています。これまで、InfiniVANはフィリピンの都市部を皮切りに大容量インターネットサービスのための基幹通信回線網を拡大してきましたが、スカ

パー J S A T が提供する衛星インターネット接続サービスがサービスラインアップに加わることで、携帯基地局の建設などの大規模な設備導入を行わずに、都市部と地方の広域で高速インターネット需要に応えることができるようになります。



サービス用アンテナ設置プロジェクトチーム



強風対策の壁も設置

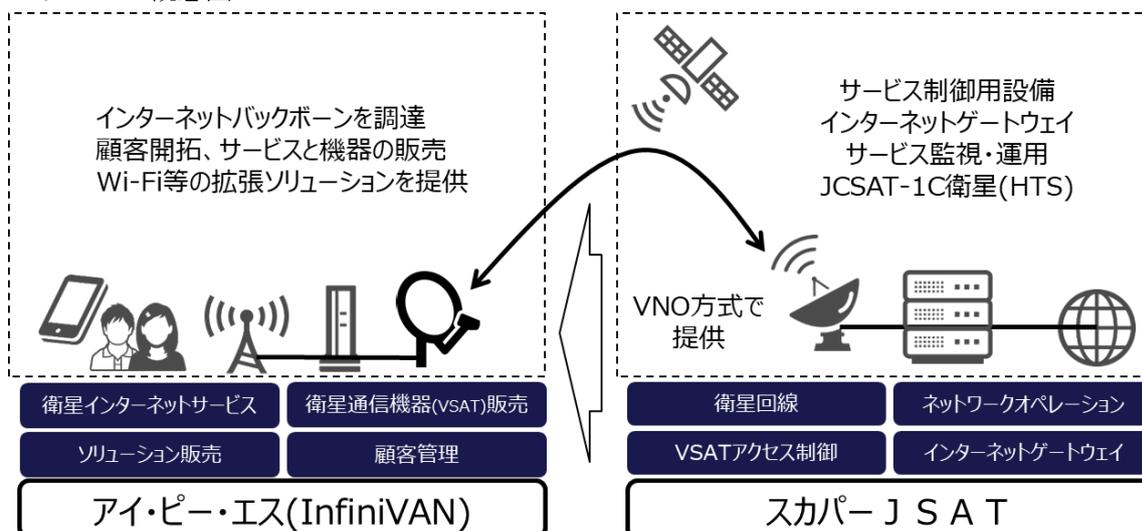
本衛星インターネット接続サービスには 2020 年に運用を開始したスカパー J S A T の新衛星「JCSAT-1C」を使用します。JCSAT-1C は、High Throughput Satellite (高速大容量衛星、以下 HTS) システムの採用により、従来型の衛星に比べ通信容量を大幅に拡張させた次世代型の衛星で、高品質かつ低コストで衛星インターネット接続サービスを提供することができます。スカパー J S A T は JCSAT-1C 用にインターネットゲートウェイを含むサービス制御設備を横浜衛星管制センターに構築しました。この設備と HTS 回線で構成するインターネットバックボーンを InfiniVAN に Virtual Network Operator (仮想通信事業者、以下 VNO) 方式で提供します。これにより、InfiniVAN は、最低限の設備投資で衛星インターネット接続サービスをラインアップに加えることが可能となります。

なお、スカパー J S A T が整備したサービス制御用設備は 100%再生可能エネルギー由来の電力を使用して運用されます。



スカパー J S A T の JCSAT-1C 衛星

■ サービス概念図



本衛星インターネット接続サービスは、日本の風力発電ベンチャーである株式会社チャレナジー（以下チャレナジー）がフィリピン北部バタネス州バタン島で取り組む「再生可能エネルギー導入プロジェクト」^{*1} 向けに 3 月から導入され、風力発電機の遠隔監視システムで利用されています。チャレナジーの風力発電技術は、強風下でも安定的に発電できることが強みで、強い台風に見舞われることの多いフィリピンに適した再生可能電力インフラとして期待されています。

アイ・ピー・エスとスカパー J S A T は、今後チャレナジーとも連携を進め、電力・通信インフラが脆弱な地域へ、クリーンな電源と衛星インターネット接続サービスを組み合わせたソリューションを検討し、通信と電力供給の安定化による生活基盤改善や災害対応力の強化、教育・医療の充実などに貢献することで、SDGs の達成を目指します。

■ 関連リンク

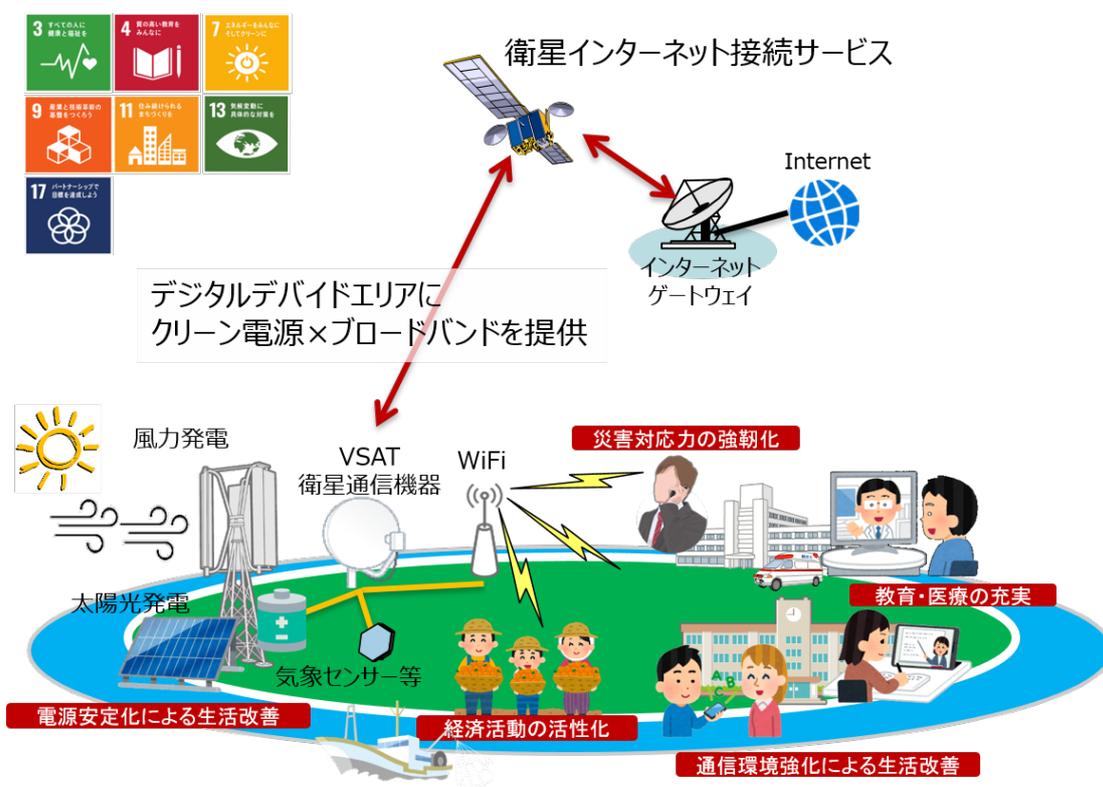
- InfiniVAN, Inc. ホームページ【英語】
<https://www.infinivan.com/>
- 2018 年 1 月 30 日リリース
「世界初「垂直軸型マグナス式風力発電機」と衛星通信で世界の離島・山間部での電力・通信サービス提供を目指し沖縄県で実証実験を開始！」
https://www.skyperfectjsat.space/news/files/pdf/news_sjc_jp_20180130_01.pdf
- 2019 年 3 月 26 日リリース
「スカパー J S A T とチャレナジー、出資契約を締結 ～衛星通信と再生可能エネルギーで SDGs 達成貢献ソリューション～」
https://www.skyperfectjsat.space/news/files/pdf/news_sjc_jp_20190326_01.pdf

※1 チャレナジーが開発したマグナス式風力発電機にスカパー J S A Tの衛星通信システムを接続し、安定した風力発電と衛星通信を組み合わせたサービスの事業化を目指すプロジェクト。風速40m/sの強風下でも発電が可能で、毎年のように台風による被害を受けているフィリピンに適した再生可能電力インフラとして期待されています。提供する衛星インターネット接続サービスは、風力発電機の遠隔監視制御に利用されるとともに、周囲の自治体施設や学校、病院等でも利用が検討されています。台風に強い風力発電機と地上災害の影響を受けづらい衛星通信サービスを組み合わせることで、安定電源と高速通信を短期間に整備することができます。



チャレナジー
マグナス式風力発電機

■参考: デジタルデバイド解消に向けた衛星通信利用例



【株式会社アイ・ピー・エス】

代表者 : 代表取締役 宮下 幸治

設立 : 1991年10月

資本金 : 1,067百万円 (2021年3月31日現在)

本社所在地 : 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階

事業内容 : 私たちは、「OPEN DOOR」を企業理念に掲げ、いまだ誰も突破できていない障壁のある生活に密着した分野で、誰よりも先んじて事業機会を創造し、事業を展開し、産業構造を変え、あるべき社会を実現してまいります。この理念を元に事業を推進することこそが私たちの社会的使命、存在意義 (PURPOSE) であると考えています。当社グループでは、フィリピンにおいて、最先端の通信技術を活用した通信サービスを提供することによりフィリピンの社会課題を解決し、SDGs に貢献しつつ、事業の拡大を図っております。

URL : <https://ipsism.co.jp/>

【スカパー J S A T株式会社】

代表者 : 代表取締役 執行役員社長 米倉 英一

設 立 : 1994年11月10日

資本金 : 50,083百万円

本社所在地 : 東京都港区赤坂1-8-1

事業内容 : 放送と通信融合のトップランナーとして、アジア最大の16機の衛星を保有し、多チャンネル放送と衛星通信を提供している国内唯一の事業会社です。加入者数約300万を誇る日本最大の衛星有料多チャンネルプラットフォーム「スカパー！」を通じて多種多様なエンターテインメントをお届けし、日本・インド洋、アジア・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーする衛星通信サービスは、「社会の安心・安全・便利」を支えています。また、宇宙データと世界最先端のテクノロジーを活用したビジネスソリューションを開発し、お客様のより一層のデジタルトランスフォーメーション推進への貢献に向けて事業活動を推進してまいります。

URL : <https://www.skyperfectjsat.space/>

以上